

帝京大学 経済学部 地域経済学科

農業は、地域にとって大切な産業であり雇用の場

帝京大学経済学部地域経済学科は、農業を地域の行政や財政、地理や社会、産業や経済、観光や環境、社会や教育などと切り離すことなく学ぶことで、農業経営やその支援を含む地域全体の活性化に貢献する人材を育成します。卒業生の多くが、農業経営や公務員、J A、金融機関などで活躍しています。

教育の特徴

充実した
教授陣

少人数教育

実践的
フィールド
ワーク

経済・行政・
産業・社会
総合的な学び

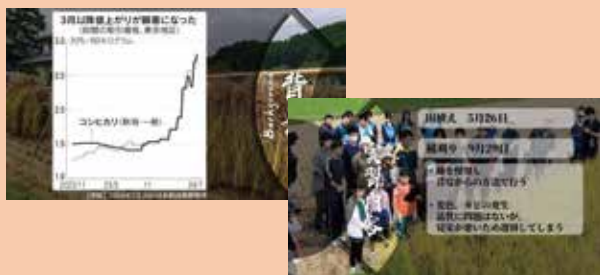
1年～4年
一貫した
演習

充実した
就職支援

2024年度のゼミ（演習）活動紹介

林田朋幸（フードシステム論）ゼミ

テーマ：栃木県の米と農家の現状
那珂川町で実際に米作りに取り組んで、
米と農家の現状について学ぶ



玉真之介（農業経済学）ゼミ

テーマ：クイズで学ぶ二宮尊徳
二宮尊徳クイズを作って、学生の間で
実施し、興味・関心を広げる



五艘みどり（観光学）ゼミ

テーマ：能登の観光による復興
能登に行って若者や移住者が取り組む
観光による復興について学ぶ



乗川聡（ライフデザイン演習）ゼミ

テーマ：放置竹林問題の解決
放置竹林問題の解決のために大学と地域
が連携した取組を行う



帝京大学 理工学部 バイオサイエンス学科

生命・環境に関する知識と技術を幅広く修得

環境や生命にかかわるさまざまな社会課題に取り組み、自ら進んで解決するために必要な、食料品や医薬品開発などの生命科学やバイオテクノロジー分野をはじめとした幅広い知識と技術を学びます。※2025年4月より、総合理工学科（環境バイオテクノロジーコース）に改組



キーワード； 生命科学、医薬品開発、動物生理学、バイオテクノロジー、バイオイメージング、SDGs、ゲノム編集

地域高校や関係機関との交流を積極的に行っています

宇都宮キャンパスでは、県内・近隣の高校との研究・学修交流を積極に進めています。また、高大連携研究も積極的に行っており、これまでも、栃木県立栃木農業高校、鹿沼南高校、那須拓陽高校を始め、多くの実績があります。

